



# 須留が峰

令和6年度  
No. 19

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

To Be a Good School

令和7年1月9日 発行



## 3学期は「0学期」

冬休み最後の日となった1月6日(月)は、冷たい雨の降る1日になりました。年が明けて初の部活動の実施日であるにもかかわらず、あいにくの天気となり、ランニングを兼ねた初詣の行き先を変更したり、体育館下のピロティを交代で使用して活動をしたりするなど、工夫して練習に取り組んでいました。



そんな天気であっても、「おはようございます!」「あけましておめでとうございます」「今年も



<1/9(木) 朝日に映える積雪>

よろしく願います」など、元気のいい挨拶の声が聞かれ、心が弾みました。常々、とにかく「挨拶は一番の養父中でいよう」と声をかけ、生徒たちもその意義を自覚して取り組んでくれるせいか、地域の方々や関係の方々から「養父中の生徒の挨拶はすごくいい!」「元気をもらえる」といったおほめの言葉をいただくことが多々あります。

養父中の新年の幕開けとなるこの日に、生徒たちの元気のよい挨拶を聞き、感動できたことをうれしく思います。

翌日の7日(火)には3学期の始業式を行い、新学期がスタートしました。

3学期は本年度のまとめの学期であるとともに、来年度1学期の前段階としてとらえ、あえて「0学期」と読み替えることにより、来年度に向けた準備を着実に進めていこうとしています。



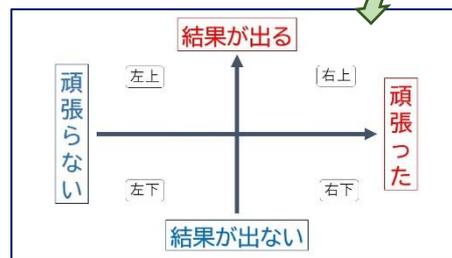
<正面玄関の生け花>

一昨日の7日付けの文書で保護者の皆様をお願いしています「学校評価」にかかるアンケートもその一環としての取組です。本年度の本校の教育活動を今一度振り返っていただき、QRコードを通してアンケートにご回答いただく中で、来年度の本校の運営や教育活動のさらなる進展・充実に向けて積極的にご意見をいただければ幸いです。2月4日(火)には「学校運営協議会」を、続く2月6日(木)には「学校保健委員会」を開催し、本年度の取組の成果と課題を整理しつつ、「学校評価」を総括していく予定です。

3学期は、0学期。今はまだ令和6年度中の1月といいながら、すでに令和7年度(2025年度)が静かに静かに始まっています。

### 3学期の始業式にて

右の図を使って、「頑張る習慣の大切さ」について話をしました。これは、あのUSJをV字回復させた、兵庫県出身の実業家である森岡 毅 氏の講話を参考にしたものです。



<1/7(火) 始業式にて>

図の中に「4つの枠」があります。一番よいのは、当然、右上の「頑張ったから結果を出せた」「結果を出せたのは頑張ったからだ」という状況でしょう。一方、一番残念なのは、やはり左下の「頑張らなかった

「ABC + DE」はすべてのベース

から結果も出せなかった」「結果が出せなかったのは頑張らなかったからだ」という状況でしょう。

では、右下の状況と左上の状況については、どうでしょうか。

そこで、始業式で話を聞いている生徒に「これからの自分の生き方として、どちらの方が価値があると思う?」と尋ねると、「右下」と答えてくれました。さらに、『失敗は成功のもと』ともいうし、今回は結果が出せなかったけど、さらに頑張り続ければ結果が出せるかもしれないし、出せると思うから」と理由を述べてくれました。まさに、そのとおり。同感です。その答え方に、さすがだと感心しました。

「頑張ったけれど結果が出せなかった」。しかしそこには必ず自分のがんばりを振り返り、見直すことができる要素があり、そこから教訓や学びを得ることができます。その生徒が答えてくれた「さらに頑張り続ける」原動力にもなるはずです。したがって、右下の状況は右上の状況につなげることができるのです。

では、左上の「頑張らなくっても、(そこそこの)結果が出る」という状況はどうでしょう。森岡氏も話されていましたが、実はこの左上の状況こそ、一番問題のある状況だと言えます。この状況に味を占めると、人はもはや頑張らなくなるでしょう。長い人生において、踏ん張らないといけない、頑張らないといけない場面は必ず生じます。その時に、おそらく踏ん張れない、頑張れない人になってしまう。その怖さについて話をしました。

養父中には「明るく、元気に、前向きに、仲間とともに」「一生懸命はかっこいい」といった合い言葉があります。その言葉を胸に、常に先ほどの図の中にある「右上や右下の状況」でいようと奮闘する養父中生であってほしいと、新年にあたっての話としました。



### 2学期の文化部門の表彰

本来なら、12月24日付けの学校だより(18号)で掲載する予定でしたが、誌面の都合上、今号での掲載になりました。

年越しでの披露になりましたこと、ご容赦ください。

12月27日(金)に、吹奏楽部がアンサンブル・コンテストで緊張感のあるキリッとした演奏をし、高評価を得ています。

### まさに、お年玉(球)

本校OBである、阪神タイガースの坂本誠志郎選手から、このたび、野球部にボール1ダースを寄贈いただき、早速、始業式で生徒たちに紹介しました。

坂本選手、ありがとう！  
そして、ますますのご活躍を、みんなで応援しています。



第43回兵庫県中学校総合文化祭書写部門 (特選)	3年	表彰者を記載しています。
第43回兵庫県中学校総合文化祭書写部門 (入選)	2年	
第43回兵庫県中学校総合文化祭書写部門 (入選)	1年	
但馬読書感想文コンクール (特選)	3年	
但馬読書感想文コンクール (入選)	1年	
JA書道コンクール (努力賞)	3年	
JA書道コンクール (努力賞)	3年	
JA書道コンクール (努力賞)	2年	
JA書道コンクール (努力賞)	1年	
但馬造形教育展 (特選)	3年	
但馬造形教育展 (特選)	2年	
但馬造形教育展 (特選)	1年	
但馬造形教育展 (入選)	3年	
但馬造形教育展 (入選)	2年	
養父市造形教育展 (入選)	3年	
養父市造形教育展 (入選)	2年	
養父市造形教育展 (入選)	2年	
養父市造形教育展 (入選)	2年	
養父市造形教育展 (入選)	1年	
兵庫県幼小中造形教育展 (入選)	1年	
兵庫県幼小中造形教育展 (入選)	3年	
全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会但馬地区予選 (銅賞)	3年	
令和6年人権啓発作品「標語の部」 (優秀賞)	3年	
令和6年人権啓発作品「標語の部」 (優秀賞)	2年	
令和6年人権啓発作品「ポスターの部」 (優秀賞)	2年	
第49回「但馬文学のつどい」冠句の部 (佳作)	3年	
第49回「但馬文学のつどい」の短歌の部 (佳作)	2年	
第49回「但馬文学のつどい」の短歌の部 (佳作)	2年	
第58回「税についての作文」 (和田山納税貯蓄組合連合会長賞)	3年	